

# 平成 22 年度 事業報告

## 1. 産学官連携交流事業及び起業家育成セミナー等の開催について

大学・公設試験研究機関、関連団体及び地元中小企業との交流を通じて、新事業開拓、新商品開発、新分野進出を促進。

### (1) 産学官連携交流事業

#### ◆「地域を彩る食物語 in オホーツク」の開催

開催日 : 平成 23 年 1 月 12 日 (水) ~ 17 日 (月)

場 所 : パラボ 5 階 催事場

#### ▶ ~全国の産学官連携事業の事例紹介と成果報告~

北見工業大学、鹿児島大学、帯広畜産大学、長崎大学、高知大学、弘前大学、東京農業大学、北海道大学、日本赤十字北海道看護大学、名寄市立大学、(独) 科学技術振興機構、オホーツク圏地域食品加工技術センター

その他、関連する商品の販売とパネル展

### (2) 起業家育成セミナー等の開催

創業を目指す市内の大学生及び第二創業を目指す企業などを対象としたセミナーを実施。

#### ◆ 産学官連携セミナー ~北見工業大学総合工学Ⅱとの連携~

開催日 : 平成 22 年 12 月 7 日 (火) 16:15~17:45

場 所 : 北見工業大学・講堂

テーマ 「クルマと通信、そして低炭素社会へ」

講 師 KDDI(株)ソリューション モバイルビジネス営業部 課長 関 淳 氏

## 2. 会員団体等が取り組む産学官連携推進事業への協力

別頁一覧表のとおり

## 3. オホーツク産学官融合センター・中小企業基盤整備機構北海道支部北見オフィスとの連携

オホーツク産学官融合センター及び中小企業基盤整備機構北海道支部北見オフィスとの連携により、地元中小企業の取り組みをフォローアップする。

#### ・定期的な情報交換

北見工業大学、北見工業技術センター、北見市、オホーツク産学官融合センター、中小企業基盤整備機構北海道支部北見オフィスによる事業化案件の掘り起こしや支援方策に係る定期的な情報交換の実施。

- ・市内の中小企業と大学及び公設試験研究機関との共同研究の推進  
北見工業大学との共同研究の実績 3件  
北見工業技術センターとの共同研究の実績 2件  
オホーツク圏地域食品加工技術センターとの共同研究の実績 1件 合計6件

#### 4. 北見地域産業振興ビジョンの推進

##### (1) 個別プログラムの進捗管理

経済産業省による平成18年度「広域市町村圏産業振興ビジョン調査モデル事業」におけるモデル地域の選定を受け、同年9月に当該ビジョンが策定され、平成23年9月で丸5年を迎える。

この間、ビジョン策定と同時に設立された同ビジョン・フォローアップ委員会（委員長 北見工業大学学長 鮎田耕一）を中心に、同ビジョンに位置づけられた43の個別プロジェクトの実効性を高めるため、これまで通算6回にわたるフォローアップ委員会を開催し、委員から頂いた意見や要望等に基づき、ワーキンググループにおいて議論を重ね、北海道経済産業局の指導、助言等を頂きながら、個別プロジェクトの具現化に向け取り組んで来た。同ビジョンに基づきこれまで取り組んできた内容について当協議会と連携を図りながら実施報告書の取りまとめを行なった。

別冊の「北見地域産業振興ビジョン実施報告書」を参照

##### (2) 共同研究

- ・ 研究名 地域資源の高付加価値化を図る有用微生物の調査研究
- ・ 内 容 オホーツク地域の農林水産資源を原料として、発酵処理により高付加価値化商品を開発するための有用発酵微生物についてデータの収集を行なった。
- ・ 共同研究者 北見工業大学 バイオ環境化学科教授 堀内 淳一 氏  
株式会社イソップアグリシステム 代表取締役 門脇 武一 氏

#### 5. 産学官連携による地元企業への支援体制の検討

北見市を含めたオホーツク圏域における課題・問題点を整理し、継続した取り組みの中で地元企業への支援体制のあり方について協議を行なった。

##### (1) 北見工業大学地域共同研究センター産学官連携推進員・協力員合同会議

###### ・ 第1回会議

日 時 平成22年10月4日

場 所 美幌町保健福祉総合センター「しゃきっとプラザ」

###### ・ 第2回会議

日 時 平成22年12月8日

場 所 湧別町文化センター「さざ波」

###### ・ 第3回会議

日 時 平成23年2月15日

場 所 北見工業大学

##### (2) オホーツク産学官融合センター事務局会議 毎月第1月曜日に地域共同研究センターにて開催

##### (3) その他

- ・ 北見市産学官連携推進協議会のホームページにより、産学官が連携して開催するフォーラム・セミナー等イベント情報の発信を行なった。

◆連携事業一覧表

日 程	内 容	場 所
		主 催
6月 8日	○地域融合フォーラム 2010年 パートⅢ ～医農工連携が拓く未来～  ・オホーツク総合振興局の地域連携の取り組み 北海道オホーツク総合振興局 地域政策部長 加藤 健一 氏  ・医農工連携が拓く未来 日経BP社 医療局主任編集委員 宮田 満 氏	(株)システムサプライ・情報プラザCOMZ
		オホーツクフードチェーン協議会
7月 3日	○オホーツク商品ブラッシュアップセミナー ～より付加価値の高い商品作りを目指して～  ・B級グルメの始まりとこれから・・・地元が力を生む (社) B級ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会 事務局長 俵 慎一 氏  ・パネルディスカッション オホーツク北見塩やきそばの成功に学ぶ、売れる商品作り パネラー (社) B級ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会 事務局長 俵 慎一 氏 オホーツクビール(株) 代表取締役専務 渡辺 克良 氏 北海道立オホーツク圏地域食品加工技術センター 研究員 抜山 嘉友 氏	北見芸術文化ホール
		ふるさと雇用再生特別対策事業受託者 (株)カルナ
7月 18日	○地域融合フォーラム 2010年 パートⅣ ～医農工連携 新しい栄養学への誘い～  ・何をどのくらい食べる栄養学 から どのように食べるかの栄養学へ 神奈川県立保健福祉大学教授 中村 丁次 氏	(株)システムサプライ・情報プラザCOMZ
		オホーツクフードチェーン協議会
7月 28日	○地域融合フォーラム 2010年 パートⅤ ～医農工連携「生命・食・健康の繋がりへのデザイン」～  I. オホーツクの食材の力を活かした生活者起点のレシピ開発の方向性 (株)ファミリークッキングスクール校長 浜内千波 氏  II. イソップのレシピ・メニュー開発の現状(試食)と浜内千波氏との創発の場 (株)ファミリークッキングスクール校長 浜内千波 氏	・I部 (株)システムサプライ・情報プラザCOMZ
		・II部 ほくでん北見支店キッチン‘ぴかり’  オホーツクフードチェーン協議会
8月 24日	○地域融合フォーラム 2010年 パートⅥ ～医農工連携「生命・食・健康の繋がりへのデザイン」～  ・産地の活性化に繋がる機能性研究、作用機序解明及び製品の開発について (独)農業・食品産業技術総合研究機構 野菜・茶機能性研究チーム長 山本 万里 氏	(株)システムサプライ・情報プラザCOMZ
		オホーツクフードチェーン協議会

日 程	内 容	場 所
		主 催
9月7日	○医工連携フォーラム・市民講座 ～地域が興す健康社会～  ・口蹄疫について 帯広畜産大学 動物・食品衛生研究センター教授 今井 邦俊 氏 ・男をいつまでも男たらしめるか？ ～男をもっと知って欲しい～ 札幌医科大学 名誉教授 熊本 悦明 氏	ホテル黒部
		北見医工連携研究会
9月22日	○地域融合フォーラム 2010年 パートⅦ ～医農工連携「生命・食・健康の繋がり」のデザイン～  ・健康科学による「モノ」づくり・価値の繋がり サントリーホールディングス技術監 田中 隆治 氏	(株)システムサプライ・ 情報プラザCOMZ
		オホーツクフードチェーン 協議会
11月18日	○新産業創出「麻」シンポジウム&ヘンプ・マルシェ ～農業と工業の連携 産業用大麻の可能性を探る～  ・「日本伝統みらい材料講」の活動について 日本伝統みらい材料講理事長 井戸 理恵子 氏 ・先進地カナダ視察の報告 (有)香遊生活麻プロジェクト担当 服部 佳彦 氏 ・「衣食住に麻のある自然生活の実践」について NPO 法人 バイオマス産業社会ネットワーク理事 赤星 栄志 氏	北見プラザホテル
		産業クラスター研究会 オホーツク
11月24日	○雪と氷を利用した地域産業の活性化 ・雪利用の最前線 室蘭工業大教授 婿山 政良 氏 ・牧草断熱による雪山の冷熱利用 北見工業大学教授 高橋 修平 氏	ホテル黒部
		北見工業大学 室蘭工業大学
1月25日	○地域融合フォーラム 2011年 ～医農工連携による付加価値協創～  ・「フードクラスター」による付加価値協創 イソップ・コリドール主宰 門脇 武一 氏 ・医からみた農・林・水産への期待 札幌医科大学学長 島本 和明 氏	ホテル黒部
		オホーツクフードチェーン 協議会